

MIZUHO

瀬木学園だより

学校法人 瀬木学園

愛知みずほ大学・大学院

愛知みずほ短期大学

愛知みずほ大学瑞穂高等学校



October
2019

Vol.28

「足跡 MIZUHO」(学園)	1・2・3
「きらり☆MIZUHO」(高校)	4
「INFO MIZUHO」(高校同窓会)	5
「EVENT MIZUHO」(高校)	5
「瑞想録」	5

おかげさまで瀬木学園は今年12月6日に創立80周年を迎えます。これもひとえに関係者のみなさま、地域のみなさまのご理解とご協力の賜物であります。今号は次号とともに、学園の歩みの一部を特集としてご紹介します。



瀬木本立先生像



高等学校本校舎1Fロビーと学園各校代表者
胸像は学園創立者、瀬木本立(もとたつ)氏 書は金澤翔子氏揮毫
代表者は左から佐藤祐造学長(大学)、大塚知津子学長(短大)、小川八郎校長(高校)



学校法人瀬木学園は、令和元年12月6日に学園創立80周年を迎えます。その歩みの一部を今号と次号の2回に分けてご紹介します。今号は前編として短期大学開学までを採り上げます。



学園創立 瑞穂高等女学校開校

DATA

学園創立

昭和14年12月6日／瑞穂高等女学校として設立許可
同年12月20日／瀬木財団法人設立

- 瀬木本雄医学博士・医師瀬木せき夫妻および長男瀬木本立^{もとたつ}医学博士によって設立
- 初代理事長／瀬木本雄 ●初代校長／瀬木本立
- 社会背景／日中戦争3年目 国民徴用令公布（7月）、第二次世界大戦開始（9月）

設立当時の女子一般の科学的素養と衛生的知識の欠如を憂慮し、女子教育の充実を期し、科学方面に深く意を注ぎ、生活原理としての理科教育の修得と真に役立つ保健衛生の学術指導を通して、本校としての特色を十分に発揮することを建学の精神としました。

●瑞穂高等女学校開校

昭和15年4月6日（第1回入学式挙行）
募集人員／150名 入学者／183名



瀬木 本立氏



瀬木 本雄氏



瀬木 せき氏

トピック①

開校時の感慨

「昭和十五年四月六日 第一回の入学式。瑞穂高等女学校はいよいよここに開校致しました。時はまさに春、万物成長の春は新入生徒の心に希望と輝く。新しい学校で新しい先生に、新しい学科の分ず分ずを、新しい気分で習う幸福な身分となった生徒は、大いに努力して私共の学校、瑞穂高等女学校を立派に育て上げましよう、かたく誓ったのであります。」（4月6日の「学校日誌」より）



第1回入学試験の様子

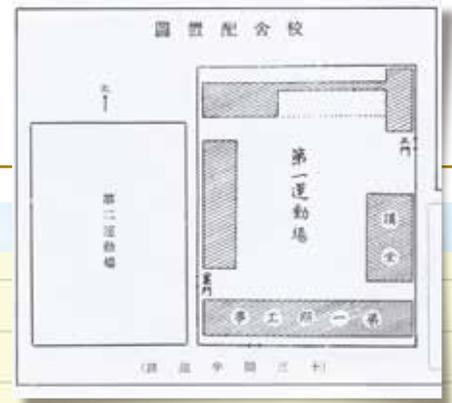


開校当時の様子

トピック②

校舎

第一期工事の校舎(二階建て)は、採光、通風、保湿などの衛生面を重視した近代的建築でした。衛生面を重視したところに学園の教育理念が見受けられます。その後、戦時における空襲での焼失と教育環境改善のために数度建て替えられました。また、戦後は、現在の名古屋市立広路小学校(当時の広路国民学校)の校舎を一部借りて授業が行われた時期もありました。



開校時の校舎配置図



昭和17年当時の校舎



校舎を借りていた
当時の広路小学校



戦後の校舎(昭和22年)

耳より! information 「所在地」と「校名」

学校用地については、現在の所在地であり、当時、瀬木本雄氏が所有していた田地が、ちょうど高等女学校として適当な広さであること、名古屋市南部には高等女学校が少ないこと、近くに電車停留所があり、また、南隣が熱田神宮に続く大道路になることが予定されていて電車、バスともに交通至便な環境になることなどが決め手になりました。現在、瑞穂区にあることから「瑞穂」を校名としていと思われがちですが、実は、瑞穂区は、昭和区と熱田区の一部が合併して昭和19年に誕生した区で、瑞穂高等女学校のほうが瑞穂区よりも先に誕生したのでした。

トピック③

校歌

作詞者は、国文学者の風巻景次郎(1902~1960年)。風巻氏は、多くの大学で教授を歴任し、『日本文学史の研究(上・下)』や『日本文学史の構想』など多くの著書があります。瀬木本立氏の旧制高等学校時代の同期の親友でもありました。作曲者は、信時潔(1887~1965年)。信時氏は、東京音楽学校の教授で、のちに文化に対する功労が認められて勲三等旭日中綬章を受章。作曲家としては、歌曲『海ゆかば』で広く知られています。この校歌は、卒業生、教職員、生徒たちに愛され、現在まで歌い継がれています。

風は つねに 清く 光みてり、空はたかし。
瑞穂 瑞穂 あゝ われ等。
心さどく 学べば、眼ひろくさやけし。
思へ この学び舎 あゝ よき日を。
花は つねに 群れて 薫たかし、園にみてり。
瑞穂 瑞穂 あゝ われ等。
心なほく 学べば、命わかく あたらし。
集へ この学び舎 あゝ よき友。

歌詞(1番・2番)



昭和34年に竣工したコンクリート製の高校校舎



瑞穂高等学校開校 瑞穂短期大学開学

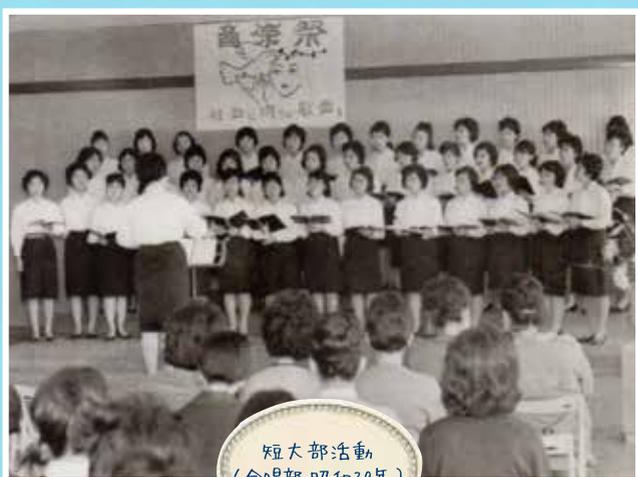
DATA

瑞穂高等学校開校

昭和23年4月1日の学制改革により、新制高等学校が誕生し、同日、瑞穂高等女学校は瑞穂高等学校(普通科)として開校しました。

瑞穂短期大学開学

学校教育法の改正により短期大学が暫定制度として発足し、昭和25年4月1日に瑞穂短期大学が、他の148校とともに初の短期大学として開学しました。当時、高等学校長であった瀬木本立氏が初代短期大学学長に就任しました。設置学科は家政科(のちの家政学科)でした。自然科学分野の系統を重視し、「保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成」が建学の精神でした。



昭和35年当時の短大校舎

次号(29号)の第3歩(大学開学)・第4歩(大学名古屋移転と各校連携)に続きます。



水泳部

インターハイ

「感動は無限大 南部九州総体2019」8/16～8/20 《競泳》熊本市・《飛込》那覇市

インターハイ「感動は無限大 南部九州総体2019」の水泳競技(競泳・飛込)で2年生の内藤大翔くん(名古屋市立左京山中学出身)が、男子100mバタフライで水泳部歴代最高の準優勝に輝きました。同大会での入賞者(8位以上)は以下のとおりです。

- 男子100mバタフライ／準優勝 内藤大翔
- 女子100mバタフライ／第5位 倉知玲央奈(2年 豊田市立保見中学出身)
- 女子100m平泳ぎ／第8位 鬼頭怜花(2年 名古屋市立一柳中学出身)
- 女子50m自由形／第8位 戸田菜月(2年 東浦町立西部中学出身)
- 男子高飛込／第6位 鬼頭海都(3年 名古屋市立長良中学出身)
- 男子飛板飛込／第6位 片岡龍之介(1年 飛島村立飛島学園飛島中学出身)



内藤大翔くん

第42回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

8/21～8/26 東京辰巳国際水泳場

- 男子100mバタフライ(15～16歳)／優勝 内藤大翔
- 女子100mバタフライ(CS*)／第3位 倉知玲央奈
- 女子50m自由形(CS)／第6位 戸田菜月
- 女子400mメドレーリレー(CS)／第3位 酒井涼花(2年 知立市立知立南中学出身)
- 鬼頭怜花
- 倉知玲央奈
- 水谷 楓(3年 東海市立上野中学出身)

※チャンピオンシップ(18歳以下)の略

倉知玲央奈さん



卓球部

インターハイ

「感動は無限大 南部九州総体2019」8/17～8/20 鹿児島アリーナ

ダブルス(1組)とシングルス(4名)に出場。惜しくも入賞は果たせませんでした。初出場の1年生3名にとっては、全国レベルを体感できたことは貴重な経験になったことでしょう。

- 女子ダブルス 中田絵梨奈(2年 名古屋市立一色中学出身)
- 甲斐萌夏(1年 半田市立亀崎中学出身)
- 女子シングルス 中田絵梨奈
- 甲斐萌夏
- 鶴岡美奈(1年 武豊町立富貴中学出身)
- 深谷和花(1年 郡山市立郡山第二中学出身)



全国高等学校珠算・電卓競技大会

8/1 仙台サンプラザホール

珠算部3年の松本紗季さん(豊川市立西部中学出身)が珠算個人総合競技で3等に輝きました。松本さんは、個人総合で、昨年度、一昨年度と連続で佳良でしたが、高校最後の全国大会で自己最高の3等となりました。また、種目別でも松本さんは、読上暗算競技で佳良の成績を収めました。

珠算部



松本紗季さん

Newspaper



INFO MIZUHO

間もなく発足75周年「瑞穂会」総会開催

7月7日(日)に高等学校同窓会の「瑞穂会」総会が名鉄グランドホテル11階にある柏の間で開かれました。当日は、広い会場を満たすほど多くの同窓生が集い、総会後の懇親会では、ホテル自慢の料理を楽しみながら思い出話に花を咲かせていました。奇しくも当日は七夕。銀河の恋人同士ではありませんが、ひさしぶりの再会を喜ぶみなさんの姿が印象的でした。「瑞穂会」は学園創立後、間もない昭和20(1945)年の瑞穂高等女学校時代に誕生し、これまで充実した活動を続けてきました。令和2(2020)年には発足75周年を迎えます。瑞穂会のますますのご発展を願います。



EVENT MIZUHO

公開見学・入試説明会(高等学校)

中学3年生向けの公開見学と入試説明会が下記のとおり開催されます。詳しくは高等学校ホームページをご覧ください。なお、参加ご希望の場合は、各中学校を通じてお申し込みください。



公開見学

11月9日(土)・16日(土)／両日9:00～12:00

内 容 学校紹介・授業体験または部活動体験・施設見学・個別相談など

申込締切 11月9日(土)開催 ▶ 11月6日(水)
11月16日(土)開催 ▶ 11月13日(水)

入試説明会

11月30日(土)／9:00～12:00

内 容 学校紹介・募集要項の説明・過去入試問題の解説・個別相談など

申込締切 11月27日(水)



昨年度の様子
(入試説明会)

● 瑞 想 録 ●

令和という新しい時代の幕開けの年に創立80周年という大きな節目を迎えることは、たいへん感慨深く、不思議なめぐりあわせを覚えます。新しい時代において学園各校の連携はますます重要度を増していきます。その重要性を象徴するために、今号では各校の代表者に表紙を飾っていただきました。

黎明期を中心にご紹介した学園の歴史ですが、次号では、各校連携強化をはじめとする新しい時代に向けての取り組みを含めて学園の現在に至るまでの歩みを紹介させていただきます。

転寝